

125
周年

「大淀再生の日」

“記念大会”集録



「大淀再生の日」記念大会
笑顔プロジェクト



橋橋より中村町を望む



「大淀再生の日」記念大会
子供遊び広場



大淀地域まちづくり推進委員会

■「記念大会集録」にあたって……………	2頁
■記念講演要旨・他……………	3頁
■おおよど音頭……………	4頁
■大淀がめざすまちの姿……………	5頁
■アトラクション・他……………	6頁
■大淀のあゆみ……………	7頁
■大淀地区自治会・諸団体紹介……………	8~10頁
■大淀公民館だより……………	11頁
■行事予定・あとがき……………	12頁

つなごう大淀の底力と誇りを

「記念大会集録」発行にあたって



記念大会実行委員会会長 松田 茂夫

平成26年6月22日、断続的に降りしきる雨の中、足を運んでいただいた地域の皆さんでほぼ埋め尽くされた宮崎市民文化ホール。プロの歌手が唄う「おおよど音頭」で幕が開いた大淀誕生125周年「大淀再生の日」記念大会は厳粛に、そして華やかにプログラムが進行するにつれ、会場の盛り上がりと一体感に身の震える感動の連続でした。

この感動を当日参加された方はもちろんのこと、来たくても来れなかった皆さんとも共有し、「笑顔と元氣あふれるまち」をめざそうとの思いからこの記念大会集録を発行することにしました。

人口減少と高齢化が進む中、地域の皆さん一人ひとりが私たちの故郷、大淀を愛し育み、今日の礎を築いた先人と同様、次の世代へとしっかりバトンタッチしていかなければなりません。その意味で、実行委員会や地域団体、そして様々なボランティアとして協力していただいた皆さん、さらには何よりも雨の中参加された多くの皆さんが見せた大会への情熱と意気込みは、大淀の活性化と再生への確かな一歩となり、大淀の新たな歴史の始まりのターニングポイントとなったのではないかと思います。この記念大会集録を通してまちづくりの新たな息吹を感じていただき、一人ひとりがまちづくりの担い手となって明日の大淀を築くために共に活動されることを願い、期待しております。

平成26年

6/22日

時間: 14:00~16:30
宮崎市民文化ホール

大会当日の日程

- ◆ オープニング「おおよど音頭」
- ◆ 開会のことば

第1部 式典

- ① 大会会長あいさつ
- ② 来賓祝辞
- ③ 来賓紹介
- ④ 「おおよど音頭」創作経過報告並びに表彰
 - 歌詞の審査決定及び作曲、振付の経過報告
(おおよど音頭創作・活用検討委員会)
 - 歌詞最優秀賞受賞者及び入賞者の表彰
(大淀地域まちづくり推進委員会会長 松田茂夫)
- ⑤ ビジョン「大淀がめざすまちの姿」の発表
- ◆ 記念講演
 - 演題 「地域づくりは自分づくりから」
 - 講師 私塾「綾心塾」塾長 綾部 正哉

第2部 アトラクション

- ① 大淀中学校吹奏楽部
- ② 「おおよど音頭」歌披露
- ③ 「おおよど音頭」踊り披露
- ◆ 万歳三唱
- ◆ 閉会のことば



戸敷市長の来賓挨拶



おおよど音頭合唱で式典が始まる(開幕のようす)

「地域づくりは自分づくりから」

講師 綾心塾 塾長 綾部 正哉さん



講師略歴

旧満州国生まれ、宮崎大学卒業後、教壇に立つ。校長職を経て、教育事務所長、教育庁教育調整監として教育行政に手腕を発揮する。

平成13年退職後、教職員をはじめ一般の方々のための無料私塾「綾心塾」を椎葉村「旧中瀬邸」に開設。各地で幅広い講演活動も行っている。



綾部先生の講演



尺八の演奏



中学生より花束贈呈

「地域づくりは自分づくりから」 記念講演より抜粋しました。

私は今、椎葉村に住んでおります。県内各地の“村おこし”“町おこし”や“人づくり”等のイベントに呼ばれて参加しております。先日は木城町の中ノ又^{なかつ}に行って来ました。中ノ又は山村で人口が減り、学校も廃校寸前まででしたが『山村留学制度』を取り入れて存続を図って来ました。

しかし、この制度も、とうとう成り立たなくなりました。

そこでどうしたか。地域の方々が考えだしたのが、自分たちの学校『中ノ又^{なかつ}笑楽校^{しょうがっこう}』でした。先日はこの笑楽校主催の“第3回花見会”でした。桜の花は過ぎていましたが集まった方々の心や体に笑いと楽しさの花が咲き誇っていました。

私は13年前、定年退職となり、椎葉の山中にやってきました。山の中の一軒家を終の棲家と決めたのです。そして『綾心塾^{りょうしんじゅく}』という塾をスタートさせました。人の少ない山の中で塾など開いて何か、と言われましたが、子ども相手の学習塾ではなく大人相手の“一人の人間としてどう生きるか”をテーマとする塾です。子や孫、ひ孫ややしゃご達に、どんな生き様、どんな姿を残すか、みんなで語り合う、そんな場所が、私の『綾心塾』です。

私は、ある所で「生涯生燃^{せいねん}」というタイトルで講演をしました。終わった後、かなり年輩の方が控え室に來られて「生燃^{せいねん}」という言葉は「広辞苑」に載っちゃとや、と言われました。勿論、広辞苑にはありません。私の造語ですが、意味は解っていただけたと思います。一生現役でありたいものです。一生、燃え尽きたいものです。

私は生き様を残すひとつの試みとして、椎葉の地に、大相撲の文化を花開かせたいと思っています。3年前から、貴乃花親方、貴乃花部屋、宮崎出身のおかみさん（花田景子さん）を呼んでいます。低迷している大相撲、日本の国技でもある大相撲を、日向の山の中でまず、子ども達に興味・関心を持ってもらいたいと考え、土俵をつくり、力士を呼んでいます。去年は5つの部屋が来てくれました。

本日は大淀再生の日「記念大会」です。何かをやろうとすれば、それを試み、企画し、参加する人を集めるのは大変です。実行委員の方々のご苦勞はよく分かります。忙しいですが、自分達の生き様を見せましょう。

私は高校2年の時に尺八を始めました。きょうは持って来ました。椎葉の山の中でオリジナルの曲を何曲か作りました。その中に「生燃^{せいねん}」という曲があります。この曲を吹いて締めくくりとします。

(すばらしい尺八の演奏があり拍手喝采でした。)

「おおよど音頭」の創作・披露



「おおよど音頭」は地域の皆さんが故郷・大淀を愛し、心ひとつに力を合わせて「元気あるまち」にしたいとの思いから生まれました。

創作に当たって平成24年7月に、「おおよど音頭創作活用検討委員会」が発足しました。委員の皆さんは「我がまちの音頭」として永く歌い踊り継がれるものと、歌詞の募集と選考、そして踊りの振付けと精力的に取り組まれました。(作曲は専門家に委託)

この創作過程の中で、歌詞は大淀地区在住とゆかりのある人に呼びかけたところ、小・中学生をはじめ遠くは青森県の弘前市からの応募も含め30人の方から36点の作品が寄せられました。これらの作品には、豊かな感性で故郷・大淀への熱く深い思いが込められていました。それだけに選考に当たっては、音楽分野で数々の実績を積まれた宮崎大学名誉教授の河口安伯先生にアドバイスをいただき、慎重かつ厳正な審査を重ね、歌詞入賞者が決定されました。踊りの振付けについては、宮崎市いきがい運動指導員の外山久美子さんが中心となって、子どもからお年寄りまで、だれでも覚えやすく親しめるものが出来ました。また「健康づくり」にも役立つ体操感覚も取り入れようということとで、軽快でリズム感のある踊りになっているのです。

こうして出来上がった「おおよど音頭」を披露する場として開催された大淀誕生125周年「大淀再生の日」記念大会は、プロの歌手が唄う「おおよど音頭」で幕を開きました。さらに日頃活躍されている大淀地区のコーラス隊が軽やかに伸びやかに音頭を披露し、フィナーレでの会場とステージが一体となった約900名の「総おどり」は実に圧巻でした。

歌詞入賞者

◆最優秀賞

柴原 美保子さん

◆優秀賞

弘田 和子さん

石峯 勝さん

◆奨励賞

藤田 胸明さん

工藤 和久さん

佐々木 哲夫さん



おおよど音頭

作詞：柴原美保子

作曲：柳田光義 編曲：前田美保

歌：山内修・水田涼香

ハアー
春が来ました 天神山に
桜満開 花ざかり
みんな輪になり踊ろうじゃないか
みんな輪になり踊ろうじゃないか
心ウキウキ 明るい人よ
絆花咲く 絆花咲く
大淀のまち

ハアー
夏が来ました 大淀まつり
神輿 花火に人の波
みんな輪になり歌おうじゃないか
みんな輪になり歌おうじゃないか
元気ハツラツ 楽しい人よ
愛が花咲く 愛が花咲く
大淀のまち

ハアー
秋が来ました 十五夜まつり
五穀豊穡 感謝祭
みんな輪になり語ろうじゃないか
みんな輪になり語ろうじゃないか
星とキラキラ 輝く人よ
夢が花咲く 夢が花咲く
大淀のまち

ハアー
冬が来ました 大坪池に
北の国から 鴨の群
みんな輪になり羽ばたこうじゃないか
みんな輪になり羽ばたこうじゃないか
笑顔イキイキ 優しい人よ
未来花咲く 未来花咲く
大淀のまち

ビジョン「大淀がめざすまちの姿」が 発表されました。

みんなでめざそう…そしてつなごう未来へ
天神の森に
笑顔と元気あふれるまち…おおよど



「私たちの大淀」その風土と人をこよなく愛し、
共に支え合い、生き生きとしたまちづくりを、
ビジョンの下で私たちみんなで心ひとつに、
力を合わせて進めていきます。



大淀中の生徒さん

I めざすまちの基本的な考え方…大淀の良さを生かすまちづくり

- 1 大淀はその地名の由来とされる“大淀川”、四季彩る“天神の森”に象徴される自然に恵まれた地域です。そのほぼ中央には文化の殿堂・宮崎市民文化ホールと生涯学習の拠点・宮崎市立図書館が位置し、その東西には地域経済の一翼を担う商店街と自然豊かな田園地帯を有し、さらに各地区には脈々たる伝統文化が息づいています。この住環境の良さを再認識し、快適で魅力あるまちへとより一層発展させます。

- 2 自治会をはじめとする地域団体の献身的活動によって築かれてきた「地域の絆」をより確かなものとするために、地域協議会、まちづくり推進委員会、地域団体等が相互の連携をより一層緊密にし、住民一人ひとりが「大淀の住民の一員でよかった」と実感できるまちへと進化させます。
- 3 歴史的にも明治以降、教育・文化・産業の各分野において、今日の「宮崎」の礎を築いた多くの先覚者を輩出していることは、大淀に今を生きる者にとって誇りであり、その功績を顕彰し、21世紀を担う青少年が希望と誇りを持って大きくはばたくまちへと再生させます。

II めざすまちの骨格

まちづくりの基本的な考え方の下で、めざすまちの骨格を以下の3つの柱とします。

- ① 思いやりの心で、いきいきと快適に暮らせるまち（元気・快適）
- ② 「あなたのその一声」^{ふるさと}がつくる安全で安心して暮らせるまち（安全・安心）
- ③ 大淀の歴史・文化を誇りに思い、故郷を愛する心を育むまち（郷土愛）



大淀小・古城小の子どもさん

「大淀再生の日」記念大会 アトラクション

大淀中吹奏楽部

大淀中吹奏楽部の素晴らしい演奏に
会場のみなさんが感動しました。



曲目

- ・コンサートマーチ青葉の街で
- ・映画『アナと雪の女王』
レット・イット・ゴー ～ありのままで～
- ・情熱大陸 ・宝島

おおよど音頭披露

みんなでひとつに！



コーラス隊 「おおよど音頭」コーラス披露

- ・大淀コーラス ・大淀歌謡教室
- ・フォーク&ポップス・わかば会民謡
- ・老人クラブ ほか



大会の最後は「おおよど音頭」の総踊り♪総勢900
名の踊りとコーラスのみなさん、会場の子どもから
大人まで全員が歌って踊って、最高に盛り上がりま
した。



踊り部隊 「おおよど音頭」踊り披露

- ・いきいき健康クラブ
- ・リフレッシュ大淀レク
- ・老人クラブ合同部隊
- ・自治会合同部隊 ほか



大淀のあゆみ

- 1872(明治5)年 現大淀小学校の前身は「中村郷校」で、1889(明治22)年に現在地に移転、その後「大淀尋常小学校」を経て、戦後の教育改革により「第3宮崎小学校」と改称され、1949(昭和24)年に「大淀小学校」となる。
- 1873(明治6)年 古城小学校が設置され、その後「古城尋常小学校」を経て戦後の教育改革により「古城小学校」となる。
- 1880(明治13)年 医師福島邦成が私費を投じて大淀川に架橋、「橘橋」と命名する。
- 1884(明治17)年 中村町に「宮崎郡役場」が置かれ、初代戸長に日高健助氏が就任する。
- 1889(明治22)年 町村制施行により、太田村・古城村・源藤村・大塚村・中村町・福島町の4村2町を統合し、「大淀村」が誕生し、初代村長には日高健助氏が就任する。
- 1917(大正6)年 町村制施行により大淀村が「大淀町」となり、初代町長には清水理四郎氏が就任する。
- 1924(大正13)年 市制施行により大淀町・宮崎町・大宮町が合併し「宮崎市」が誕生する。初代市長に大迫元繁氏が就任する。
- 1945(昭和20年) 太平洋戦争末期、3月18日に最初の空襲があり、特に8月10日から3日間続いたB29の爆撃による被害は大きく、被災戸数2,397戸、死亡者123人、負傷者167人にのぼった。
- 1947(昭和22)年 戦後の教育改革により「大淀中学校」が設置される。
- 1948(昭和23)年 現宮崎工業高校の前身は「宮崎郡立職業高校(明治37年開校)」でその後幾多の変遷を経て、戦後の教育改革により「大淀高校」として設置され、1965(昭和40)年に「宮崎工業高校」となる。
- 1960(昭和35)年 「天神山公園」が公園として整備され、利用できるようになる。
- 1978(昭和53)年 「大淀公民館」が開館する。
- 1979(昭和54)年 橘橋(6代目)全長389m 4車線の新しい観光シンボルとして完成した。
- 1987(昭和62)年 「宮崎産業経営大学」が開学する。
- 1988(昭和63)年 農業の近代化・大規模化に対応するため、「古城地区県営圃場整備事業」を竣工し、その後2012(平成24)年には「古城地区パイプライン事業」が完成する。
- 1994～1996年(平成6～8年) 「宮崎市福祉文化公園」が開園し、「宮崎市立図書館」、「宮崎市総合福祉保健センター」が開設され(平成6年)、平成8年には「宮崎市民文化ホール」が開館する。
- 1997(平成9)年 薫る坂が住宅地として整備され、その後2006(平成18)年に「薫る坂」と住居表示が実施される。
- 1998(平成10)年 花山手が住宅地として整備され、「花山手」に町名変更される。
- 2006(平成18)年
- ・宮崎市と3町(佐土原・高岡・田野)が合併し新宮崎市が誕生した。
 - ・大淀地区に「大淀地域自治区地域協議会」が設置された。
 - ・国道269号「天満バイパス」が開通する。
 - ・「大淀地域事務所」が開設される。
- 2014(平成26)年 “つなごう大淀の底力と誇りを”をテーマとして、「大淀誕生125周年『大淀再生の日』記念大会」を開催する。

中村町1丁目1(東北側)

新橘橋架け換え工事中(昭和53年頃)

大淀地区自治会活動の紹介

	自治会名 会長名	世帯数	おもな事業	課題や大淀への期待
東 部	◆太田北 清水 栄太郎	280	○餅つき大会 ○敬老会	○高齢化が急速に進んでいる ○自治会への加入促進が進まない
	◆太田南 猪股 清行	232	○自治会活動への班長全員参加 ○福祉のまちづくりを目指して 福祉協力員の増加	○若い住民の自治会への理解と参加 ○宮崎神宮大祭と天満宮夏祭への 全住民の参加
	◆中村 松藤 賢市	113	○水かけ地藏祭り ○中村町恵比須祭り	○中村町商店街の活性化 ○世帯数の減少 ○活力ある地域を期待
	◆淀川 飯塚 守	220	○淀川橋稲荷神社初午祭 ○敬老祝賀会	○班の再編成 ○加入世帯の増加 ○自然を残した市民の憩いの場
	◆南町 河野 博	222	○“福寿会”健康体操 ○ふれあいサロン	○会員世帯の高齢化と加入世帯の減少 ○“音頭”の定着と大淀の活性化
	◆京塚 貴島 隆明	222	○防災環境整備 ○自治会未加入対策	○少子高齢化問題 ○地域課題の解決と活性化
	◆谷川 時任 昭次郎	232	○谷川八坂神社夏まつり 子ども神輿運行に90余参加 ○ふれあいにこここサロン	○若い世代の行事への参加が少ない ○親子の交流・住民との交流 ○総合的なスポーツ施設の設置
	◆福島町 藤田 胸明	159	○科学工作教室 ○町民交流会(敬老会)	○少子高齢化問題 ○後継者不足 ○町民の助け合いと格差のない地域づくり
	◆ヴェルデクス大淀河畔 上牧 敏浩	58	○ヴェルデクス夏まつり ○クリスマス会	○健康フェスタへの参加者が少ない ○自治会と諸団体との協力による問題解決
	◆大淀団地 佐藤 丈一	49	○敬老会 ○子供会へのプレゼント	○高齢化が進み、諸活動への参加が少ない
西 部	◆大坪 野崎 広海	240	○沿道・公園の美化活動 ○敬老会と花見会の開催	○自治会未加入問題 ○高齢化問題 ○地区リーダーの識見
	◆大坪第二 木村 寛昭	119	○大淀地域住民同士の絆づくり	○児童及び高齢者対策 そのための行事の開催
	◆大坪南 黒木 重信	348	○敬老会 ○三世代ふれあい餅つき大会	○各サークルの参加者の減少 ○派手でなくても、平穏な日々 ○大淀音頭の大淀住民への周知
	◆大坪団地 山崎 恒男	162	○自治会内外の美化活動 ○地域住民同士の助け合い活動	○自主防災と共助の確立 ○活気のある住みやすい大淀

大淀地区自治会活動の紹介

	自治会名 会長名	世帯数	おもな事業	課題や大淀への期待
西部	◆ 江南団地 松本 博俊	156	○三世代交流餅つき大会 ○健康講演会	○役員の後継者問題 ○高齢化に伴う参加者の減少 ○生活空間の環境維持
	◆ 県住江南団地 米良 恵子	117	○夏まつり ○敬老会	○イベントへの参加者が少ない ○大淀公民館の建替えと体育館 (プロの呼べる)の設立
	◆ 倉の町 長友 弘見	23	○敬老会 ○ごみ収集への連絡と取組み	○世帯数の減少 ○ごみ収集の効率化を進める ○ネット型から、収納箱型へ
	◆ 江南ハイツ 藤本 洋志	125	○三世代交流「江南ハイツ夏まつり」 ○福祉活動「ふれあいサロン」	○次期世代への継承 ○少子高齢化への対応 ○大淀の魅力を伝えるイベントの開催
	◆ 花山手 石峯 勝	904	○花山手夏まつり (今年2000人参加) ○20周年記念事業	○地域の絆をいかにして高めるか ○アパート住民の自治会への加入 ○ふるさとづくりへの意欲と参加
南部	◆ 源藤団地 日高 美津子	105	○日帰り研修旅行	○大淀地区と赤江地区の間にあり 学校区、自治区に課題が多い
	◆ 源 藤 山口 徹	411	○源藤夏まつり ○敬老会	○会員の減少 ○行事への不参加 ○宮崎市で一番元気のある大淀 ○住んで良かったと感謝される大淀
	◆ 古 城 奥野 増博	49	○古城神社神楽祭り ○神社・仏閣・河川等の維持管理	○高齢者対策 ○急傾斜地の防災対策 ○高齢者が増えていく中で災害防止対策や 自治会活動、まちづくりに不安が残る
	◆ 山 内 杉田 武俊	48	○古城かぐら ○古城川一斉清掃	○子供の減少 ○地域全体での行動への参加
	◆ 山之城 鬼塚 晃	49	○古城まつり	○記念誌の発行を大いに期待
	◆ 時 雨 貴島 勝	45	○念仏講 ○春の神楽祭	○高齢化・少子化対策 ○災害時の対応
	◆ 北川内 長友 泉	109	○運動会 ○敬老会	○大雨時の防災対策(排水対策) ○行事やイベントへの参加(参加者が少ない) ○大淀音頭の普及強化
	◆ 薫る坂 木幡 眞澄	366	○敬老の日祝賀行事	○自治会の担い手不足 ○くらし易い環境づくり

大淀地区団体活動の紹介

団体名 会長名	おもな事業	課題や大淀への期待
◆大淀地区自治会連合会 (加入世帯 4992 世帯) 猪股 清行	○安心・安全で心が通い住み良い 活気ある地域づくり ○地域発展の起爆剤づくり	○組織の拡大と人材育成 ○福祉活動の組織化
◆大淀地域自治区地域協議会 河野 博	(地域協議会は事業実施団体ではない)	○協議会の組織が地域内に浸透していない ○置県100年を記念して「何でも挑戦、みんなが参加」のスローガンが掲げられたが、消極的で足ひっぱりの県民性から脱出していない。大淀地区はこの精神をとり戻したい。
◆大淀地区社会福祉協議会 松田 茂夫	○小地域ふれあいネットワークづくり ○代議員全体研修会 ○地域福祉懇談会	○地区社協の活性化と強化 ○地域福祉活動への関心の希薄さ ○ボランティア登録者希少
◆大淀地区 自治公民館連絡協議会 貴島 隆明	○生涯学習・文化講演会 ○パソコン研修会	○各種団体と連携した地域づくり ○公民館活動の活性化 ○ビジョンによる課題解決と支援
◆大淀地区体育会 川野 芳雄	○大淀ふれあい健康フェスタ ○自治会対抗ミニバレー大会	○各イベントへの参加を いかにして増やすか ○各自治会との連携強化
◆中村町商店会 山之口 章太郎(会長代行)	○中村水かけ地蔵祭り ○中村恵比須神社大祭	○後継者問題 ○商店街の歩行者減少
◆大淀地区 地域包括支援センター 草野 径子(管理者)	○高齢者の介護と福祉 ○健康に関する相談窓口 ○包括ケアシステムの構築支援	○当センターの機能と役割の 住民への周知不足
◆市消防団大淀分団 飯塚 貞夫	○火災等の災害対応 ○防災に関する諸活動	○団員の確保
◆大淀地区老人クラブ連合会 杉尾 泰弘	○さんさんクラブ宮崎大会への出席 ○さんさんクラブスポーツ大会への出席	○会員の減少傾向及び新会員の増加が少ない ○単老人クラブの会長の引き受けがない
◆大淀地区 民生委員・児童委員協議会 中野 喬介	○見守り台帳に基づく訪問活動 ○各世帯での福祉に関する相談・支援	○見守りネットワークの構築 ○自治会、その他の機関との連携
◆大淀地区 青少年育成協議会 安河内 新三	○地域みんなのあいさつ運動 ○学校・地域・家庭PTA等、 みんなで守る子供の健全育成	○今は親の身、次は我が身
◆大淀地域 まちづくり推進委員会 松田 茂夫	○「大淀再生」記念大会 ○おおよど福祉まつり ○6部会の各活動	○地域の再生と活性化 ○イベントへの多くの住民の参加 ○部会への新規加入

『第26回 大淀地区文化祭 大盛況!』



熱演で盛りあがった 学習・芸能発表



みんなで一緒に おおよど音頭



何が当たるか? お楽しみ抽選会



力作ぞろいの 作品展示

10月18日(土)、大淀地区文化祭は地区内外約1900名の方々にご参加を頂き、無事終了いたしました。前日準備、当日後片付けなど、たくさんの実行委員の方々にご協力いただき、本当にありがとうございました。



これからの行事予定

平成27年 大淀地区成人式	日 時 平成27年1月11日(日)10:00～(受付9:20～) 場 所 大淀中学校体育館
第2回自主グループ代表者会	日 時 平成27年2月2日(月)10:00～11:30 場 所 大淀公民館 第1研修室
文化講演会 ～ 渡邊 綱纜 氏 「宮崎観光 今昔物語 その3」 ～ おもてなしと岩切イズム ～	日 時 平成27年2月16日(月)10:00～12:00 場 所 大淀公民館 第1研修室



月 日	まちづくり・地域活動・祭り・学校行事
12月6日(土)	ふれあい健康ウォーキング大会(花山手大坪池公園、9時20分集合)
12月25日(木)	小学校・中学校冬季休業 ～1月6日まで
(平成27年)	
1月9・10日	中村恵比須神社大祭
1月11日(日)	大淀地区成人式(会場:大淀中学校)
2月16日(月)	文化講演会 渡邊 綱纜 氏(会場:大淀公民館)

もっと知りたい! おおよどのまち

宮崎市地域保健課 江南地域総合保健係

市民の皆様の健康づくりの拠点として、日常生活に密着した保健サービスを行なっています。

◎母子の健康に関すること

妊娠届・親子健康手帳交付、1歳6か月・3歳6か月児健診、訪問指導、こんにちは赤ちゃん事業 虐待に関する事など

◎成人の健康に関すること

各種健(検)診、訪問指導、健康相談、健康手帳交付、わたしの想いをつなぐノート交付、DVに関する事など

◎心の健康に関すること

相談、訪問など



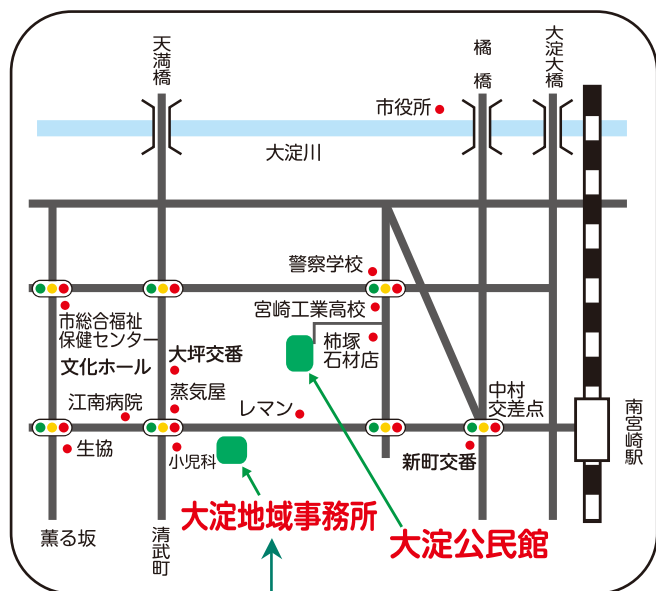
宮崎市総合福祉保健センター2階 電話: 52-1506

大淀地区社協
全体研修会

- 日時 12月2日(火) 13:30～15:00
- 場所 宮崎市総合福祉保健センター2F視聴覚室
- 内容 (1)講話「要支援1、要支援2は何処へ」
(2)事例発表 (3)協議

自治会単位の
福祉懇談会開催中!!

災害時要援護者の確認や地域福祉の諸問題を協議していただいております。



- 1階・大淀地域事務所・地域協議会事務局
・大淀地区社会福祉協議会事務局
- 2階・大淀地域まちづくり推進委員会事務局

～ あとがき ～

6月22日(日)の『記念大会』から、早や5ヶ月。“光陰・矢の如し”と言いますが将にその通りです。歳月とともに記憶は薄れていきますが、“大淀再生”の日の『記念大会』は記憶に是非、留めておきたいものです。

その意味で、この特集号を編集・発行することになりました。

編集の基本方針は、①読み易く、②解り易く、そして、

③正確に、の3本柱としました。

いかがでしょうか。

よろしく、ご判読の上、明日への活力源として活かしていただければ誠に幸いです。



◆“記念大会”集録 編集長 石峯 勝

◆委員 時任 昭次郎・米尾 健太郎・湯浅基治(釘村 俊己・柴田 隆雄)

平成26年12月発行

この「元気だより 特別号」は地域コミュニティ活動交付金を活用して発行しています。※今回のニコニコ通信はお休みします。